

## 第 133 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 24 年 1 月 27 日 (金) 14 : 45 ~ 17 : 00  
場 所 電気倶楽部 B 会議室  
出席者 委員長 田辺 (電中研)  
委員 岩佐 (産総研)、黒川 (産総研)、作田 (日本大)、  
竹内 (横河電機)、仲嶋 (三菱電機)  
幹 事 作本 (日電検)、大谷 (アンリツ)  
幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

### 資 料

- 133-1 平成 24 年度 計測技術委員会活動計画 (三次案)
- 133-2 平成 24 年度 計測研究会開催予定 (三次案)
- 133-3-1 平成 23 年 計測研究会開催状況
- 133-3-2 計測研究会プログラム (12 月開催分、1 月開催分、2 月開催分、3 月開催分)
- 133-3-3 電気学会 研究会企画連絡シート (5 月開催分)
- 133-4 平成 23 年優秀論文発表賞受賞者 (報告書)
- 133-5-1 2011 年 IEEE IM 学生研究発表会 順位表
- 133-5-2 IEEE IM 学生研究発表会表彰状 (見本)
- 133-6-1 平成 24 年度電気学会東京支部連合研究会開催ご協力をお願い
- 133-6-2 平成 24 年度東京支部連合研究会に関する回答
- 133-7-1 活動報告
- 133-7-2 2011 年 Chapter 会計報告
- 133-7-3 Chapter 主催 Award 登録書
- 133-8 電気学会 125 年史 第 2 部 記載内容・執筆者・予定ページ数 連絡シート

### 議 事

#### 1. 議事録の確認

- ・異議なく承認された。
- ・議事録 2 の研究会テーマ (7 月開催分) について、センサ応用計測とする。
- ・議事録 3 の研究会開催状況について、12 月の研究会の発表件数は最終的に 9 件となった。また、2 月の研究会の開催地は伊勢で、3 月の研究会の開催地は新潟で確定した。以上の補足説明があった。

#### 2. 運営委員会報告

大谷幹事より 11 月に開催された研究調査運営委員会について報告があった。

- ・調査専門委員会について、テーマは良いが委員の人選に偏りがあるとの意見があった。また、他部門からの公募を働きかけてはどうかとの提案があった。
- ・設置趣意書の調査期間に誤りがあったので訂正した。
- ・研究調査運営委員会から調査専門委員会へ何らかの論文を出してほしいとの話があった。
- ・調査専門委員会の報告形態については、技術報告書を提出する。
- ・研究調査運営委員会への資料の提出は、従来は学会でコピーを行っていたが、今度からは必要部数を事前にコピーして送ることになった。
- ・各技術委員会の英語の Web ページを作成するように要請があった。計測技術委員会としては、EINA の記事を掲載してはどうか。1 案として、EINA に掲載した記事、委員名簿、研究会の論文タイトルを掲載する。

### 3. 平成 24 年度 計測技術委員会活動計画

作本幹事より資料 133-1 に基づき、平成 24 年度 計測技術委員会活動計画の三次案について説明があった。

- ・調査専門委員会の新設時期を変更した。
- ・A 部門大会は 9 月 20 日、21 日に秋田大学で開催される。ポスターで委員会活動を報告する必要があるかもしれない。
- ・来年度の運営委員会の時期は現時点では未定である。
- ・今後、調査専門委員会で承認された議事録を提出し、活動報告を行ってほしい。

### 4. 平成 24 年度 計測研究会開催予定

作本幹事より資料 133-2 に基づき、平成 24 年度 計測研究会開催予定の三次案について説明があった。

- ・各計測研究会の担当委員を決定した。
- ・5 月開催の研究会は 25 日を予定する。
- ・6 月の研究会の開催地は愛媛県を予定する。

### 5. 平成 23 年 計測研究会開催状況

作本幹事より資料 133-3-1、資料 133-3-2 および資料 133-3-3 に基づき、平成 23 年の計測研究会開催状況について説明があった。

- ・平成 23 年の計測研究会は 1 月から 12 月まで 60 件の発表があった。
- ・平成 24 年 1 月からの研究会は、1 月開催は 8 件、2 月開催は 8 件（温度計測は中止）、3 月開催は 5 件を予定している。
- ・2 月開催の計測研究会について、会場は確保できたが、プロジェクターが予約できなかったため、名古屋のレンタル会社に依頼した。

### 6. 平成 23 年優秀論文発表賞受賞者

白井幹事補佐より資料 133-4 に基づき、平成 23 年優秀論文発表賞受賞者について説明があった。

- ・A 賞について、計測技術委員への割り当ては 1 件で、三菱電機の佐野氏を選出した。
- ・部門表彰について、割り当て人数は現在のところ未定であるが、例年、A 賞の 2 倍程度の人数を報告することから、三菱電機の渡邊氏、産総研の堂前氏の 2 名を選出した。

### 7. IEEE 学生研究発表会

大谷幹事より資料 133-5-1 および資料 133-5-2 に基づき、2011 年 IEEE IM-09 学生研究発表会について説明があった。

- ・学生研究発表会の順位と表彰状の様式が決まった。1 位は大分大学の上野氏で、黒川委員から表彰受諾の可否および IEEE の入会の意思を確認していただく。
- ・表彰状のサイズは A3 とし、原本は作本幹事が管理する。また、佐賀大学開催分の原稿および写真についても作本幹事が管理する。今後はこれらが開催実績のベースとなる。
- ・表彰状等は作本幹事が用意する。
- ・表彰について、実施方法については検討が必要であるが、できれば 3 月までに行いたい。
- ・今後の発表会における採点について、同点の場合は学年の低い方を上位とする。また、同学年の場合は採点者で協議する。これらについて、内規に加える。
- ・開催時期については複数開催でもよく、前半に東京地区、後半に西日本地区ではどうか。また、開催時期は固定の方が予定を立てやすいのではとの意見があった。
- ・次回開催は、5 月に日本大学、11 月に佐賀大学で開催する。

## 8. 平成 24 年度東京支部連合研究会

白井幹事補佐より資料 133-6-1 および資料 133-6-2 に基づき、平成 24 年度東京支部連合研究会について説明があった。

- ・東京支部連合研究会からの依頼（資料 133-6-1）について、資料 133-6-2 のとおり回答するが、担当委員の作田委員の都合を優先したい。

## 9. IEEE 活動報告

作本幹事より資料 133-7-1、資料 133-7-2 および資料 133-7-3 に基づき、IEEE IM-09 の活動について説明があった。

- ・活動報告は資料 133-7-1 のとおりである。
- ・2011 年 Chapter 会計は資料 133-7-2 のとおりである。
- ・Chapter 主催 Award は資料 133-7-2 のとおり登録する。

## 10. 電気学会 125 年史

白井幹事補佐より資料 133-8 に基づき、電気学会 125 年史についての説明があった。

- ・編修委員会を通して、計測技術委員会に執筆者の推薦依頼があった。
- ・第 3 節は竹内委員に、第 5 節 4 項は産総研の小見山氏にお願いする。
- ・原稿締切は 7 月末である。

## 11. その他

- ・全国大会における「センシング技術とその応用」のセッションで、岩佐委員がスマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会の報告を行う。

## 次回予定

日 時 平成 24 年 4 月 20 日（金）14:30 ～ 17:00

場 所 未定